

令和元年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者候補者選定」に係る審査）

- 1 開催日時 令和元年10月30日（水） 13:00 ～ 13:50
- 2 開催場所 青森市役所本庁舎1階会議室（旧青森銀行青森市役所支店）
- 3 対象施設 アップルヒル
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 横内 修（企画部理事次長事務取扱）
副委員長 山谷 直大（総務部理事次長事務取扱）
委員 池田 亨誉（青森公立大学准教授）
委員 佐々木 信一（東北税理士会青森支部税理士）
委員 川村 敬貴（環境部次長）
 - (2) 施設所管課（地域づくり振興課） 課長 木村 浩一
主幹 今村 剛志
主査 西岡 隆
 - (3) 制度所管課（財政課） 副参事 鈴木 健司
主幹 熊谷 圭介
主査 吉田 敏和
主事 磯野 竜太郎
- 5 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査
- 6 会議概要 応募団体によるプレゼンテーション及び質疑応答の後、指定管理者候補者の選定を行った。
 - (1) 審査結果
 - ①指定管理者候補者
 - ・名称 株式会社アップルヒル
 - ・住所 青森市浪岡大字女鹿沢字野尻2番地3
 - ・代表者 代表取締役 佐藤 文一
 - ②指定期間
令和2年4月1日からの5年間
 - ③選定理由
 - ・応募資格を満たしていること。

- ・「応募団体について」を除いた点数（125.00点）が最低得点（81点）以上を獲得していること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数及び「財務の健全性」の配点の50%の点数の合計（66点）以上の点数（95.00点）を獲得していること。

7 主な質疑内容

委員：「デジタル時代に対応したインバウンドセミナー」や「キャッシュレスセミナー」、「AED講習会」などが重要と考えるが、これらの研修への参加実績はどうか。

応募者：キャッシュレスやインバウンド対策は、特に重点をおいており、案内のあったセミナー等にはほとんど参加している。リーダーの職員が参加し、そこで学んだ内容を社内研修の実施により、職員間で情報共有し、スキルアップを図っている。

委員：アップルヒルでも食品を取り扱っているが、食品ロスへの対策は何かあるか。

応募者：アップルヒルでは毎日、廃棄量についてチェックし、その状況を踏まえて、仕入れの発注精度を高めることで、食品ロスの減少に努めている。

委員：施設管理運営において、前回5年前の選定時または去年からでも内容を改めたものはあるか。

応募者：ここ2、3年で施設内でのイベント実施回数を大幅に増やしたことにより、来場者数や売り上げの増加に繋がっており、今後も継続していく。

委員：障がい者の雇用について、法律（障がい者雇用促進法）で障がい者の雇用人数が定められているが、応募者の法定雇用人数は何名か。

応募者：従業員数が28名であるため、障がい者の雇用義務はない会社である。現在、障がい者を雇用していないが、令和2年度に1名雇用する予定であり、積極的に取り組んでいく。

委員：防災対策として、施設が被災した場合に他の安全な場所への避難について対策を講じているようだが、逆に他の場所が被災した場合に、当該施設を一時避難場所として今後、受け入れていこうという考えはないのか。

応募者：施設が土砂災害警戒区域内に立地しているため、避難場所とすることができない。

委員：年1回の全館土砂災害避難訓練を実施するとあるが、これまで過去に実施した実績があるか。また、実施している場合、実施時間帯や参加人数など、どのような内容で実施しているのか。

応募者：土砂災害避難訓練は今年初めて実施するもので、明日実施する予定である。朝の8時30分から9時30分の1時間程度で職員20名程度で実施する。実施した結果を踏まえて、内容を改善していく。

委員：空調設備点検・清掃業務を随時実施するとあるが、清掃は年何回実施する予定か。

応募者：少なくとも年1回は実施する。その上で、空調に不具合があった場合には、随時実施する。